森林整備

千葉県　千葉市（優良森林整備事業）

- 千葉市は、森林所有者の自助努力によって整備が期待できない森林について自然災害等による施設被害を未然に防ぐため森林等の安全対策に取り組んでいる。
- 令和４年度は特殊地拵え3.41ha、植栽2.13ha、下刈2.5haの森林整備を実施した。

□　事業内容

森林整備（特殊地拵え・植栽・下刈）の実施

- 特殊地拵え

台風等の被害森林で被害木を含めた立木を皆伐、枝葉等を整理し植栽やその後の保育を実施するための基盤整備

- 植栽

特殊地拵え施業地において、原則2年以内に苗木（ナラ・クヌギ等）の捕植

- 下刈

植栽施業地において、植栽木の生育に障害となる雑草木の刈払い

【事　業　費】22,460千円（うち譲与税12,062千円）

【実　　績】特殊地拵え：3.41ha、植栽：2.13ha、下刈： 2.5ha

□　取組の背景

- 千葉市では、令和元年台風15号により、風倒木が周辺の道路や電線等（以下「重要インフラ施設」）に被害を与え、大規模停電の発生や重要インフラ施設の早期復旧の妨げとなった。
- 自然災害等による施設被害を未然に防止するとともに、既に自然災害等により被害を受けた森林について、風倒木の残地による病害や二次被害を防ぐため、令和２年度から優良森林整備事業を実施している。

（地拵え前の状況）

（地拵え後の状況）

（植栽後の状況）

□　工夫・留意した点

- 森林の管理は原則森林所有者の責務であるが、森林の伐採等の管理は費用負担が大きいことから、国・県の補助事業の活用や市の補助事業で実施することで、森林所有者に負担のかからない枠組みで実施した。
- 森林所有者と協定や覚書を締結し、事業実施後10年間は転用を認めず、下刈等を実施することで適正な維持管理を行う。

□　取組の効果

- 特殊地拵え3.41ha、植栽2.13ha、下刈2.5haを実施し、過去の災害により被害を受けた森林の早期復旧と、今後発生し得る災害によるインフラ施設等への被害の未然防止のための森林整備に寄与した。

◇　基礎データ

①令和４年度譲与額：116,324千円	②私有林人工林面積（※１）：1,854ha	
③林野率（※１）：20.7%	④人口（※２）：974,951人	⑤林業就業者数（※２）：59人

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より

森林整備

千葉県　千葉市（カシノナガキクイムシによる被害対策事業）

- 千葉市は、カシノナガキクイムシによる被害の拡大を防止するため、被害木の伐採等の処理を実施している。
- 令和４年度は被害木の伐採及び燻蒸処理を実施した。

□　事業内容

カシノナガキクイムシによる被害木の伐採、燻蒸処理

- カシノナガキクイムシによる被害

カシノナガキクイムシ（体長4～5mm程度）が６～８月頃に健全なナラ類の幹に侵入し、持ち込んだナラ菌により通水障害を発生させ、夏から秋にかけて葉が枯れる。樹木に侵入したカシノナガキクイムシの成虫が幹内に産卵後、幼虫が生育し、翌年に新たな成虫として飛散することで被害が拡大する。

- 被害木の伐採、燻蒸処理

幹内で幼虫として生育している間（成虫に羽化するまで）に、伐採・搬出処分、燻蒸処理（殺虫剤注入）を行い、被害の拡大を防止する。

【事 業 費】123,698千円（うち譲与税69,900千円）

【実　　績】被害木伐採等702本（譲与税充当分）

（被害木の状況）
葉が変色し
枯死に至る

（被害木の特徴）
根元に木くずや糞の混合物（フラス）が堆積

（燻蒸処理中の状況）
殺虫剤を注入、
ビニールで覆う

□　取組の背景

- 全国的には1990年前後より日本海側の地域で被害が拡大し、平成22年度にピークを迎えた以降も収束には至っておらず、千葉市においては令和元年度に被害の発生が確認された。
- 病害虫被害蔓延防止の観点から被害の拡大を及ぼす恐れのある樹木の伐採等を実施している。

□　工夫・留意した点

- 被害木の処理に当たり、樹木幹内に幼虫として生育している間（成虫に羽化するまで）の11月から3月に処理を実施した。
- 燻蒸処理（殺虫剤注入）に当たり、より燻蒸の効果が得られるよう、根株に鋸目を入れた。

□　取組の効果

- 今後さらに被害を拡大させる恐れのある樹木702本の伐採、燻蒸処理を実施したことで、広域的なカシノナガキクイムシによる被害の拡大防止に寄与した。

◇　基礎データ

①令和４年度譲与額：116,324千円	②私有林人工林面積（※１）：1,854ha	
③林野率（※１）：20.7%	④人口（※２）：974,951人	⑤林業就業者数（※２）：59人

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より